

EXPO2025 大阪・関西万博

清掃スタッフユニフォームに

クラブハウの生地が使用されています

現在開催中の大阪・関西万博。その会場で活躍する清掃スタッフのユニフォームに、当社クラブハウの生地が採用されています。快適性と機能性を兼ね備えたこの生地は、社員一丸となったものづくりの結晶です。今回はその舞台裏をご紹介します。

清掃スタッフユニフォーム

当社の取引先である丸十服装が日本国際博覧会協会へ提案・納品した、帽子・上下セットアップ(ブルゾン・ズボン)の3点。ブルゾン1500着、ズボン3000着、帽子1500個に約7100mの当社生地が使用されています。

プロジェクトの経緯

この企画がスタートしたのは2024年5月。ユニフォーム部の絹本部長が丸十服装からお声掛けいただき、東京ユニフォ

ーム課の丸山さんが担当することとなりました。「日本の暑い夏を過ごせる、軽量で快適なもの」というシンプルながらもハイドルの高い要望に応えるため、丸山さんは奔走します。

開発の裏側とこだわり

採用されたのは、表面と裏面が異なる二重織の「URAMEN(ウラメン)」をベースにオリジナル開発されたポリエステル95%・綿5%の生地。

生地の裏面に綿の糸が点で肌に触れるように設計することで、肌離れの良さ、軽さ、通気性を実現しました。

しかし開発は順風満帆ではありませんでした。新開発の生地であったため、日本国際博覧会協会指定の鮮やかなブルー色を表現するのが非常に難しく、ポリエステルと綿で染まり方に差が出てしまったのです。

そこで技術課の黒瀬さんのアドバイスをもとに、徳島工場の大月さんと連携。現場の努力もあり、事業部全体で試行錯誤を重ね、無事、指定の色を再現することができました。



▲クラブハウのユニフォーム生地が大阪・関西万博をサポートしています

担当者 丸山さんの声

短期間でしたが、丸十服装の担当者とは毎日のようにWEB面談やメール・電話でのやり取りを続け、一緒にものづくりができたのは大きな経験でした。ざつくりした要望からスタートしましたが、良いものを作り上げ、無事に入札が決まったときの達成感はひとしおでした。

まとめ・今後への期待

多くの関係者が力を合わせて実現した今回のプロジェクト。クラブハウの技術とチーム力が、大阪・関西万博という世界的な舞台で多くの人の目に触れています。今後も繊維事業部の商品が、社会のさまざまな場面で活躍できるよう、挑戦を続けていきます。

万博会場へ行かれる際には、5月号で紹介したシグネチャーパーピリオンのユニフォームと一緒に、今記事の清掃スタッフのユニフォームにもぜひ注目してください！

(繊維企画課

萩本 千夏 記)